

故障と処置

記載以外の異常や故障の際にはお買上の販売店にご相談ください。

症状	原因	対策	処置
スイッチを入れても作動音がしない	電源プラグの差し込み不良 ギアが固着している	電源プラグがコンセントから抜けていないか確認する 固着を解除する	D
スイッチを入れると作動音はするが噴霧できない(霧の出が悪い/弱い)	ホースが折れている 噴口が詰まっている ストレーナーが詰まっている タンク内の液量不足 ポンプ内が乾燥している	まっすぐに直す 分解して洗浄する 分解して洗浄する 液を追加する 呼び水をする	A B C
動作中に停止する	ギアが固着している	スイッチを切り、固着を解除して電源を入れ直す	D
ノズル本体より水漏れ ノズルレバーが重い	ノズル部Oリングの劣化 ノズル部Oリングのグリス切れ	Oリングの交換 Oリングにグリスを塗布する	E E

処置A 噴口の洗浄

しまる
ゆるめる

つまようじなどで穴のつまりを取り除き、きれいな水でよく洗ってください。

処置B ストレーナーの洗浄

ストレーナーの編目部分のつまりを取り除き、きれいな水でよく洗ってください。

処置C 呼び水をする

本体を逆さまにしてストレーナーを取りはずし、ホースの穴(矢印)へ少量の水を入れ、逆さのままスイッチを付け、本体とタンクをセットして通常使用してください。(噴射するまで繰り返してください)

処置D ギアの固着の解除

スイッチが「切」になっていることを確認し、本体の裏側にあるゴムパッキンをめくり、指でギアを矢印のように回して動かしてください。

処置E ノズル部Oリングの交換・グリスの塗布

ノズル本体
キャップ
Oリング(P11)
Oリング(P5)
グリス Oリング(S3)
グリス ノズル弁

ノズル部Oリングの劣化
ノズル部Oリングのグリス切れ

Oリングの交換
Oリングにグリスを塗布する

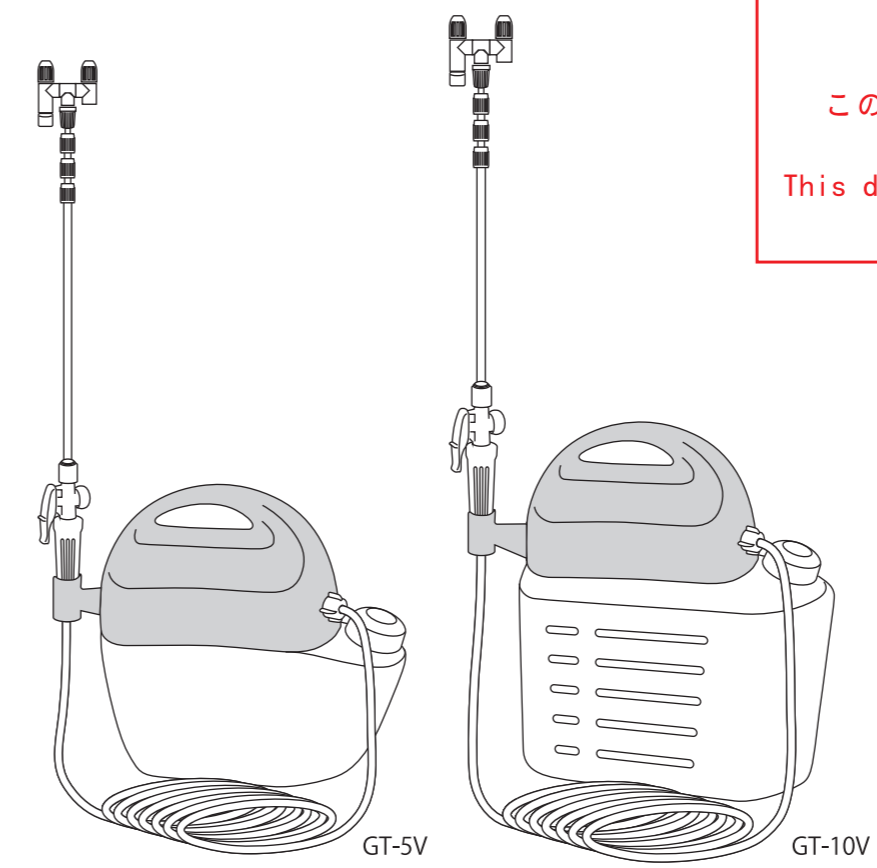
処置E ノズル部Oリングの交換・グリスの塗布

グリスを塗る範囲

ノズル本体
キャップ
Oリング(P11)
Oリング(P5)
グリス Oリング(S3)
グリス ノズル弁

Oリングには定期的少量のグリスを注油してください。

KOSHIN **カーテンマスター** 電気式噴霧器 GT-Vシリーズ取扱説明書



- ご使用前に本書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はいつでも見られるように、大切に保管してください。

株式会社 **工進** 本社・工場：〒617-8511 京都府長岡京市神足上八ノ坪12
ホームページ：http://www.koshin-ltd.co.jp

保証書

保証期間 1年間 (お買い上げ日より)

機種名 電気式噴霧器 カーテンマスター GT-Vシリーズ

お買い上げ日 年 月 日

このデータは内容確認用であり、印刷に使用するデータではありません。印刷は必ずAIデータを使用してください。When you make a print, please use the AI data always.

この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて、下記記載内容で無料修理をお約束するものです。保証期間経過後の修理等については、ご不明の場合は、販売店にお問い合わせください。

保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本記載内容に基づき無料修理いたします。お買い上げ日から保証期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただきお買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、運送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変、異常電圧等による故障または損傷。
 - (ニ) 本書のご提示がない場合。
 - (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (ヘ) 消耗品は有料修理となります。(各種パッキンなど)
 - (ト) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障または損傷。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- この商品は持込修理に限らせていただきます。出張修理はいたしておりません。
- 本書は日本国内についてのみ有効です。

株式会社 **工進** 京都府長岡京市神足上八の坪12

工進 お問い合わせ相談窓口

●製品についての取扱い方法・商品選定は… ●購入後1年以内の製品で故障かな？と思ったら…

☎ **0120-075-540**

(年末年始・夏季休暇等・日祝日を除く、平日 午前9時～12時・午後1時～5時、土曜日 午前9時～12時)

お電話頂きます際は、機種名・お買上月日・故障状況をご確認の上お知らせください。修理についてのご相談や部品のご注文は、お買上の販売店にご依頼ください。

オプションパーツ(別売)

オプションパーツはお買い上げの販売店よりご注文頂けます。部品名、型式、JANコードをご確認の上、ご依頼ください。

部品	部品名	型式	JAN
ノズル	4段伸縮ノズルパイプクミ (201・63cm)	0508249	—
噴口	2頭口噴口 (1頭口切替)	0458482	—
	カバー付泡状除草噴口※	PA-105	4971770-101869
	泡状除草噴口※	PA-291	4971770-107861
ノズル本体	ノズル本体クミ	PA-179	4971770-402126
ホース	吐出ホースクミ (10m)	0508250	—

※ご注意：除草剤にご使用の際は、噴霧器本体の兼用使用はお避けください。

パーツリスト確認方法

工進製品は全てホームページ上で部品の価格が閲覧できるようになっています。

<http://www.koshin-ltd.co.jp>

- トップページのパーツリストバナーをクリック
- 使用している分野をクリック、または画面を下へスクロール
- 使用している部品をクリック
- 使用している部品の型式を探し、ファイル名をクリック
- 必要な部品の部品コード、部品名、価格などを確認

ご注文時のお願い 部品コードと部品名、必要な個数を正しくご記入ください。部品コードをご記入いただくことで発送が早くなります。

もっと安全・安心に

(飛散) ドリフトの少ない農薬散布を!

食品衛生法が改正され、農薬残留基準にポジティブリスト制度が導入されました。今まで残留農薬基準値が決められていなかった農薬に、0.01ppmという一律の厳しい基準が設けられ、この定められた基準を超えて農薬が残留する食品は、出荷停止・販売禁止・回収等の対応が求められるようになりました。

農薬の適正使用はもちろんのこと、散布する薬剤が周りの圃場にドリフト(飛散)しないよう、これまで以上に気をつける必要があるとともに、地域一体となった取り組みが大切となります。

ポジティブリスト制度とは

食品衛生法に基づく残留基準値が設定されていない農薬等が一定量以上含まれる食品の販売等を原則として禁止する制度です。一定量とは「人の健康を損なう恐れのない量として厚生労働大臣が定める量」として、原則0.01ppmとなっています。(いわゆる一律基準)平成18年5月29日より施行 ※詳しくは厚生労働省のHP等をご参照ください。

散布しようとする作物以外に農薬がドリフト(飛散)しないよう散布時には細心の注意をはらいましょう。

- 風の弱い時に風向きに注意して散布しましょう。**
農薬ドリフトの最大要因は風です。風のない日や風の弱い時に散布しましょう。散布中は常に風の状況把握して注意することが必要です。
- 方向や位置に注意して散布しましょう。**
出来るだけ作物の近くから作物だけに散布するよう心掛けます。特に圃場の端部では外側から内側に向けて散布する等、特に注意が必要です。
- 適正なノズル・圧力で散布しましょう。**
細かい散布粒子のノズルを使用するほど、また 散布圧力を高めるほどドリフトしやすくなります。必要以上の圧力で散布しないよう注意が必要です。又、ドリフトの少ないノズルに取り替えることも効果的です。

適正量を散布しましょう。

必要最小限の量と区域で散布を行い、無駄な散布をしないように心掛けます。散布量が多くなるとドリフトする割合も大きくなります。

薬剤タンクやホースは洗い残しがないよう十分に洗浄を行い、洗浄水は適切に処分しましょう。

薬剤タンクやホースに使用した農薬が残っていると、次の散布時に作物に薬害が生じたり、収穫物に農薬が残留してしまいう等、思わぬ事態に繋がる恐れがあります。

地域一体となった取り組みが大切です。

- 周りの作物にも登録のある農薬を使用しましょう。**
より多くの作物に適用があり、収穫近くまで使える様な農薬を選定する事で、飛散した場合のリスクを低減する事が出来ます。
- 決められた農薬の使用法を守りましょう。**
使用前には農薬の使用法を確認し、散布出来る作物や使用量、濃度、使用時期、総使用回数必ず守って使しましょう。また、圃場ごとに使用した農薬や作業内容を必ず記録しておきましょう。
- 境界区域では農薬散布を控え、周りの作物をネットやシートなどで遮断したり一時的に覆いましょう。**
周りの圃場で収穫直前の作物がある場合は、散布日や収穫日を変更する等の調整をしましょう。

次の場合は特に注意が必要です。

- ◇圃場同士の距離が近い時
- ◇隣の食物作物の収穫が近づいてきた時
- ◇飛散が起こりやすい散布方法・条件の時

農薬散布することを周りの生産者に伝え、日頃からコミュニケーションをとるなど、地域の農業従事者同士の連絡を密にしておくことが重要です。

※イラストは全てイメージです。

安全上のご注意

●ここに示した注意事項は製品を正しくお使い頂き、あなたや他人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は次のように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

- ⚠ **危険**：人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される項目
- ⚠ **警告**：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される項目
- ⚠ **注意**：人が損害を負う可能性や物的損害の発生が想定される項目

危険

ベンジン、ガソリン等の可燃性の液体や溶剤等は絶対に使用しないでください。故障やケガの原因となります。

改造は絶対にしないでください。故障や異常作動したり、ケガの原因となります。

園芸用薬剤以外や、強酸性・強アルカリ性の液体等は絶対に使用しないでください。故障やケガの原因となります。

薬剤は有害です。幼児や子供が触れないように保管してください。また、使用方法や保管方法については、薬剤の取扱説明書に従ってください。

散布の際は薬剤の付着や吸入を防ぐため、露出の少ない衣服(マスク・めがね・手袋等)を着用してください。

警告

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など)傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外での使用はしないでください。タコ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

電源プラグのほこりなどは定期的にとってください。プラグにほこりなどがたまると湿気などで接触不良となり、火災の原因となります。プラグを抜き乾いた布でふいてください。

延長コード使用時は、芯線断面積0.75mm²(7A)以上で、出来るだけ短い(100m以下)コードをご使用ください。細く長いコードの使用は火事やブレーカーが作動する原因となります。

安全上のご注意

警告

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。差し込みが不完全だと感電や漏電による事故やケガの原因となります。

本体に水をかけないでください。感電や漏電による事故やケガの原因となります。

注意

タンクに液体を入れたまま倒さないでください。空気がより液体が漏れることがあります。また使用後はタンクやノズルの薬液を完全に抜いてください。タンクがノズルより高い位置にある場合、薬液がノズルより出ることがあります。

本書で示す安全事項は起こりうる全ての状態は表していません。製品の安全性には十分気を配っておりますが、取扱される際は取扱説明書をよく読み、安全に十分お気を付けてください。

使用後は必ずスイッチを「切」にし、コンセントより電源プラグを抜いてください。

伸縮ノズルパイプを縮める時ノズル先端を人体に向けしないでください。薬剤が飛び出して、人体にかかると危険です。

本機種は日本国内向け、100V仕様です。電圧の異なる国や地域ではご使用になれません。

使用薬剤について

この噴霧器は園芸用薬剤専用です。園芸用薬剤以外や、強酸性、強アルカリ性の液体、可燃性の液体、溶剤等は絶対に使用しないでください。また、石灰硫黄合剤や水和剤を使用される場合、ポンプの寿命や性能に悪影響を及ぼしますので水に十分溶かしてからご使用ください。使用後は、必ず「使用後のお手入れ」に沿って水洗いしてください。

※この噴霧器は園芸用薬剤以外には使用できません。希釈倍率など、詳しくは薬剤の説明書をお読みください。

◎ 使用できる薬剤

園芸用薬剤 (石灰硫黄合剤・スミチオン乳剤、マシン油乳剤、オルトラン乳剤、アルテリック乳剤、サイアノックス乳剤、スミナイス乳剤、ケルセン乳剤、アカル乳剤、ポリオキシシン乳剤、サブロール乳剤、オレート液剤、ラウンドアップ、ターンアウト液剤、MCP ソーダ塩、オルトラン水和剤、ロプラール水和剤、ベンレート水和剤、マンネブダイセン M 水和剤、ダイセン水和剤、ダコニール水和剤、ホルドー水和剤、キャプタン水和剤、オーソサイド水和剤) など

× 使用できない薬剤・液体

ケルセン水和剤、トレファノサイド、ゴーゴーサン、スタム、DDVP、可燃性の液体や溶剤 (ガソリン、ベンジンなど)、油性薬剤、園芸以外の殺虫剤 (ハエ・蚊用殺虫剤・シロアリ駆除剤など)、畜産用薬剤、防疫殺菌用薬剤 (クレゾール・ホルマリンなど)

タンクのはずし方/取り付け方

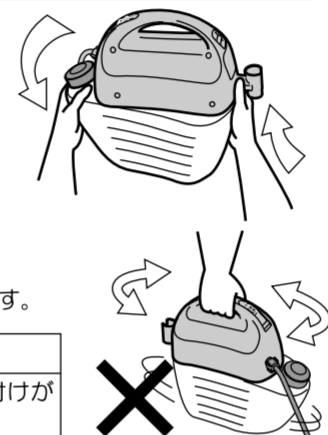
本体部を回してはすしてください。

タンクを本体からはすするのが固くて難しい場合は右図の方法で外してください。親指で本体の角を押しながら回します

取り付けは逆の作業を行ってください。

※イラストはGT-5Vの場合です。GT-10Vは本体の形状とイラストが若干異なります。

注意 本体を持ったまま左右に振らないでください。長期間ご使用されると、本体とタンクの締め付けが弱くなる場合があります。



つかいかた

1 本体にベルトを取り付けます

●バックルの向きにご注意ください。ベルト取り付けの際、バックルの向きが反対ですとベルトが固定できません。

ベルトの通し方

2 ホースを取り付けます

ホースキャップを本体のホース接続口に取り付けます。

3 ノズルを組み立てます

ノズル本体、バックン、取り付ける、ノズル、はすす

注意 接続部にはバックンが付いています。必ずバックンがあることを確認してください。また液漏れがないようしっかりと締め付けてください。

つかいかた

4 ノズルを調整します

ノズルの長さを調整します。調節後はキャップをしっかりと締め付けてください。

ノズル長さの調整方法

5 薬剤を入れます

注意 薬液は規定容量以上入れないでください。前回使用した薬剤が残っていないか確認してください。化学反応を起こし、有毒ガスが発生する危険があります。

●溶かす薬剤のめやす

水	薬 剤		
	500倍にうすめるとき	1,000倍にうすめるとき	2,000倍にうすめるとき
1 L	2cc	1cc	0.5cc
2 L	4cc	2cc	1.0cc
3 L	6cc	3cc	1.5cc
4 L	8cc	4cc	2.0cc
5 L	10cc	5cc	2.5cc
6 L	12cc	6cc	3.0cc
8 L	16cc	8cc	4.0cc
10 L	20cc	10cc	5.0cc

← 3cc
← 2cc
← 1cc
← スポイトの目盛りの単位はccです。(cc=g=ml)

つかいかた

6 電源プラグをコンセントに挿します

スイッチが「切」になっていることを確認し、コンセントに差し込んでください。

7 散布します

本体のスイッチを「入」にします。ノズルレバーを押すと散布します。

ノズルレバーの操作方法

ノズルレバー

断続噴霧

連続噴霧

霧の調整方法

しめる

広範囲に散布する時

遠くへ飛ばす時

ゆるめる

1頭口への切り替え方法

コックを締めると1頭口として使用できます。

注意 液漏れの原因となりますので、コックを締め切った状態から1回転以上緩めないでください。

注意 右図の範囲を超えて使用されますと、噴口が外れたり破損することがありますのでご注意ください。

ノズルホルダーにノズルを立てる際、誤ってノズルレバーに触れ誤噴霧しないようご注意ください。

余った薬液をタンクに入れたまま長時間放置しないでください。各部品が痛み、製品寿命が短くなります。

各部の名称

本体

ノズルホルダー

電源コード

電源プラグ

容量表示目盛

タンク

吸入ホース

タンクキャップ (薬液注入口)

ストレーナー(フィルター)

本体

スイッチ

ホース接続口

ノズル

1頭口

切替

コック

4段伸縮ノズルパイプ

ノズルレバー

ホースキャップ

ノズル本体

ノズルグリップ

吐出ホース(10m)

201~63cm

※イラストはGT-5Vです。

付属品

スポイト

ショルダーベルト

仕様・性能

	GT-5V		GT-10V	
	5L	10L	5L	10L
タンク容量	5L	10L	5L	10L
ポンプ	ギヤポンプ			
モーター	直流12Vモーター			
噴霧時間目安 (タンク1杯あたり)	1頭口噴口時: 11分	2頭口噴口時: 7分	1頭口噴口時: 22分	2頭口噴口時: 14分
	噴霧時: 0.45L/分、直射時: 0.57L/分	噴霧時: 0.68L/分、直射時: 0.74L/分		
噴霧能力*	1頭口	2頭口		
	噴霧時: 0.45L/分、直射時: 0.57L/分		噴霧時: 0.68L/分、直射時: 0.74L/分	
電源	AC 100V (50Hz, 60Hz)			
消費電力*	27W			
延長コード長さ	0.75mm ² 時: 100mまで			
本体重量	1.9kg	2.2kg		
ノズル	4段伸縮ノズル (63~201cm)			
接続ネジ	噴口接続部: G1/4、ノズルパイプ接続部: M16			

*50Hz、60Hzどちらも性能に変わりはありません

使用後のお手入れ

1. ご使用後は下記の手順で必ず清水を噴霧してください。

水洗い

① タンクに残った薬液を抜いてください。

② タンクに清水を入れてください。

③ 約1分間噴霧してタンクとポンプ内部、ホース、ノズルから薬液を洗い流してください。

約1分

注意 水洗いを実施せずに故障した場合は、保証期間中でも保証対象外となります。

2. ホースから水を抜いて保管します。

① ホースから4段伸縮ノズルパイプをはずしてください。

② ホースキャップをゆるめて本体からホースを外してください。

③ ノズル本体をホースよりも下にし、先端を地面に向けてノズルレバーを押しってください。

④ ホースの中から水が出なくなるまで約1分間そのままにしてください。

3. 箱などに入れ直射日光や雨水を避けて保管してください。

注意 タンク、ポンプ及びノズル内の薬液を完全に抜いてから保管してください。薬液が固まったり、凍結したり故障の原因となります。また、タンクがノズルより上にある場合、残った薬液がノズルから溢れ出すことがあります。(サイホン現象)

本体には水をかけないでください。故障の原因となります。

石灰硫黄合剤・水和剤は特にしっかりとポンプ及びノズル内を水洗いしてください。固着、ノズル詰まりの原因となります。